

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4 年 2 月 10 日

公表:令和 4 年 4 月 1 日

事業所名 児童発達支援(重症心身)プレーメン碧海古井

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1	利用児童が多いときは少し狭く感じる。	児童が万が一転倒しても危なくないようテーブルの角などにカバーを付けている。
	2 職員の配置数は適切である	11	0	児童定員5人に対して職員を5名配置している。	児童5名に対して5名の職員配置ができるよう人員を確保しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	3	おもちゃや保育用品などは分けて収納しており、物品も高さがあるものは置かないようにしています。	指導訓練スペースの床は色分けされており視覚で分かるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	0	子どもが興味を持つような飾り付けがされている。	支援終了後は次亜塩素酸でおもちゃや床等を消毒しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	6	毎月1回ミーティングを行い業務改善を図っている。	定期的にミーティングを行い内容もPDCAサイクルを盛り込んでいきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	3	定期的に保護者にアンケート調査を行い業務改善を図る。	保護者アンケートの結果を踏まえ業務改善について職員と話し合っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	5	ホームページに記載する文面や活動内容はわかりやすく掲載します。	自己評価の結果について職員と話し合っていく改善していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	6	自社内の管理者と定期的にミーティングを行い改善点を話し合っている。	定期的に管理者で行う定例会に参加し問題点など改善しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	4	各自でも常に勉強している。	全体研修では議題を設け話し合っていく形式で行っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0	定期的に保護者面談を行いニーズや課題を改善しています。	保護者面談に参加できない保護者に対しては電話でのヒアリングを行っている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2		点数化できる評価基準を設けたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	発達支援は保育士、機能訓練は機能担当職員、医療ケアの関しては看護師を交え支援計画を立てている。	児童に対し適正に支援が行われているかミーティングを行い改善を図っている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	6ヶ月に一度支援計画の見直しを行い適正に支援が行われているか確認しています。	支援計画書は6か月に一度見直しをしており適正に支援が行われているか確認をしています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	保育、看護、リハビリ各々の視点でプログラムを考察できている。	事業所会で立案されたプログラムをスタッフ全員で共有しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	季節を感じることでできる活動内容を立案している。	活動プログラムが固定化しないよう1ヶ月に一度ミーティングを行っています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11	0	集団活動に参加が難しい児童に対しては小集団活動から始めるなど工夫しています。	6ヶ月に一度支援計画書の見直しをしています
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	カンファレンスでも話し合ったり、常に情報を周知しているようにしている。	ミーティングの際に業務改善について議題を盛り込んでいます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	常に情報交換、カンファレンスを行っている。	支援終了後は必ず打ち合わせを行うが解決できない問題に関してはミーティングで話し合うようにしています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	支援毎に業務日誌、実施記録の記入を行っている。	業務日誌は支援毎に必ず記載を行い振り返るようにしています。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	6ヶ月に一度担当の支援員や関係機関とモニタリングを行い支援の向上を図っている。	6ヶ月に一度モニタリングを行い支援計画の見直しをしています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	引き続き児童発達支援管理責任者が参加します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	1	定期的に地域の保健センターの担当の方と連携を図っており支援をしています。	引き続き保健センターとの連携を図っていき支援に取り組んでいきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	10	1	他施設への見学を行い、良い連携をとっている。	引き続き他施設への見学や、月に1度医療ケア児事業所会に参加していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	0	必要があれば主治医との連絡を図りアドバイスをいただいています。	引き続き主治医との連絡体制を整えていきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	7	移行時は担当者会議を開き情報共有をします。	引き続き移行時は担当者会議を開き情報共有をしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	8	保護者や関係機関を通して情報共有を行っています。	これまで小学校、特別支援学校との情報共有を直接行っていないが今後は図っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3	月に1度行われる医療ケア児事業所会に参加して助言や研修に参加しています。	引き続き医療ケア児事業所会に参加します。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	7	今のところは活動を行っていません。	今後機会があれば交流できる場を設けていきたいと思ひます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	5	月に1度参加しています。	引き続き参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	定期的に保護者面談を行っており課題について聞き取りを行っています。	引き続き保護者面談を行っていきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	5	定期的保護者面談を行っております。	引き続き保護者面談を行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1	契約時に必ずお伝えしています。	引き続き契約時や必要であればお伝えしていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	契約時に個別支援計画書作成に基づく説明を行っています。	引き続き契約の際には個別支援計画書作成にあたっての説明を行います。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1	サービス提供記録用紙や送迎時に保護者と常にコンタクトをとっている。また必要に応じて支援を行っている。	引き続きご相談があれば必要な助言や支援を行っていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	7	今のところ保護者会の開催はしておらず保護者同士の連携を図れていない。	機会があれば保護者同士で連携を図れる会を開催していきたいです。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	2	保護者からの相談を受けた際は迅速に対応しています。	引き続き保護者から相談を受けた際は迅速に対応してきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	4	利用予定表を渡す際に行事予定も書面にてお渡ししています。	引き続き書面にてお渡ししてきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10	1	鍵付き書庫にて保管しています。	引き続き鍵付き書庫にて保管します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	保護者が職員にお話ししやすいよう定期的にスタッフ研修しています。	引き続きスタッフ研修を行っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	5	今のところ行っていない。	機会があれば行ってきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	1	感染症対応マニュアルを作成しておりスタッフに周知しています。	感染症対応マニュアルを保護者やスタッフに周知できるよう配布します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	年に2回行っています。	引き続き避難訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11	0	スタッフ全員周知しています。	スタッフ全員周知しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	食物アレルギー等に関しては契約時にアセスメントしており周知しています。	食物アレルギー等に関しては契約時にアセスメントしており周知しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1	ヒヤリハット作成して定期的に共有しています。	引き続き定期的に共有していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	機会があれば虐待防止の研修に参加している。	今後も定期的に研修に参加していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	1	身体拘束は行ったことはないが 必要であれば保護者の承諾を得たうえで 行います。	身体拘束は行ったことはないが 必要であれば保護者の承諾を得たうえで 行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 4 月 1 日

アンケート期間:令和 3 年 1 月 1 日～令和 3 年 2 月 1 日

事業所名 児童発達支援(重症心身)プレーメン碧海古井 保護者等数(児童数) 10名 回収数 9 割合 90 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	1	0	1	目が届きやすいちょうどいいスペースだと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3	0	0	1対1で付き添ってくれるので安心できる。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	1	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2	0	2		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	1		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	1	歌、踊り、遊びが、子どもたちができる範囲で、色々工夫されていると思う。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	3	10		
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	1	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11	1	1	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	0	2	6		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14	0	0	0	報告、連絡、相談がちゃんとされている。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1	0	4		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	4	8	保護者同士の交流の機会があると嬉しい。	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1	0	1	利用追加や曜日変更に対応してもらい、とても助かりました。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	0	0	0	連絡帳に一日の出来事が細かく記入されているので、何をしたらわかりやすい。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	1	0	5		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	0	2		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	0	0	6	訓練の実施、説明を受けている(防犯訓練の実施のみ不明)	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	8		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	3	表情にはあまり出ませんが、楽しみにしていると思う。	
	23	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	1	満足しているし、とても助かっている。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。